

視覚文化探究講座

定員：25名

申し込み締め切り：7月31日(火)

会場：名古屋大学情報学部SIS スタジオ

現代は、視覚文化の時代です。写真、映像、アニメ、ゲーム、TV、インターネット、SNSと、とんでもない量の情報が、ひっきりなしに目に飛び込んできます。私たちは、それらを日々受信し、理解し、そして発信しながら生活しています。この講座では、視覚情報について知り、ヴィジュアル(視覚)を通してどのような思考ができ、また役に立つのか、講義とワークショップを通して体験し、考えていく機会を提供します。

1	8月8日(水) 10:00-12:00	見て、比べて、発見しよう 遠藤麻里(広島国際学院大学情報文化学部デザイン学科/電子社会デザイン)	いつも見ている風景は、かつてはどうだったでしょうか? 写真と実際の風景を見比べて、どう変わったのか、良くなったのか悪くなったのか、そしてそれは何故なのかを考えるワークショップです。いつもの風景の中に新しい何かを発見しましょう。
2	8月8日(水) 13:00-15:30	データにヴィジュアルをつけよう 定國伸吾(静岡理工科大学情報学部コンピュータシステム学科/ユーザーインターフェイス)	私たちは、生活空間に溢れる各種の情報機器を通じて、さまざまな情報を目にしています。これらの情報の多くは生のデータではなく、用途に応じてヴィジュアル化されています。このワークショップでは、データにヴィジュアルをつける体験をし、身の回りのヴィジュアルの意味について考えます。
3	8月9日(木) 10:00-12:00	絵を描いてみんなで絵で考えよう! 鈴木宣也(情報科学芸術大学院大学メディア表現研究科/インタラクションデザイン・ヴィジュアルリテラシー)	みなさんは言葉だけで考えていませんか? また、絵を描くのもじっくり考えすぎていませんか? 絵を描いて考えると、自分の考えの整理に役立ったり、他の人と一緒に考えたりできるようになります。ヴィジュアル(視覚)で考えることを試してみましょう。
4	8月9日(木) 13:00-15:30	写真文化を学ぶ、スマホで人を撮る 茂登山清文(名古屋芸術大学芸術学部芸術学科/視覚文化・ヴィジュアルリテラシー)	スマホは思っている以上に写真撮影にも使えます。200年になろうとする写真の文化を、人を撮るという視点から学び、発売してやっと10年で私たちのなくてはならないツールとなったスマホで人を撮ってみましょう。